



WTDB-KT、WTDB-RT、WTDB-FT、WTDB-LT

片側手すり、両側手すり、フルセット手すり、片側開口手すり 取扱説明書

この度は、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、片側手すり・両側手すり・フルセット手すり・片側開口手すりについて説明しています。ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みになり、事故が起こらないよう内容にしたがってお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。

この製品に関する取扱情報、修理・故障のお問い合わせはこちらの二次元コードを読み取りアクセスいただけます。



〈片側〉



〈両側〉



〈フルセット〉



〈片側開口〉

表示マークについて

取扱説明書に記載されている△マーク付の説明は、安全上特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

警告 記載されている内容を守らなければ、死亡や障害事故が生じる危険があることを示します。



禁止

このマークは禁止(してはいけないこと)を示します。



強制

このマークは強制(必ずすること)を示します。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

1.使用条件について

警告 この製品を、適合機種以外の製品に取り付けて使用しない。誤った使用法や用途以外の使いかたをすると、転倒や転落による重大な事故の恐れがある。



禁止

警告 裏面の「取り付けかた」に従って、本体に確実に取り付けること。



禁止

2.作業するとき

警告 手すりに寄りかかったり、押したり引いたりしないこと。手すりが破損したり、不安定になって、転倒や転落事故の恐れがある。



禁止

警告 手すりに足を乗せたり体重を掛けたりしない。足が滑ったり手すりの破損によって、転倒や転落事故の恐れがある。



禁止

警告 この製品は電気を通すので、配線に触れると感電し、重大な事故につながる危険がある。



強制

3.ご使用になる前に

警告 各部の曲がりや、ボルトの緩みがないか点検を行う。ボルトの緩みがある場合は増し締めして使用すること。



禁止

警告 この製品はアルミ製で、曲がったアルミを曲げなおすと強度がいちじるしく低下し、容易に折れたり曲がったりして、重大な事故の原因になる。



禁止

警告 手すりを加工や改造をしないでください。重大な事故を起こす恐れがあります。



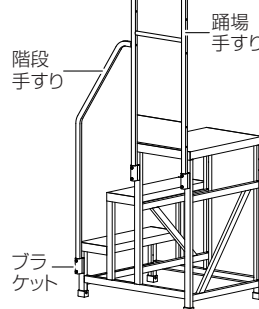
禁止

適合機種

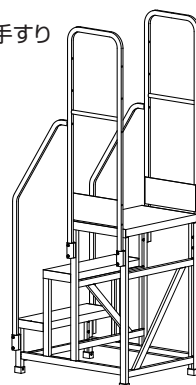
WTDB2、WTDB3、WTDBC2、WTDBC3

各部名称

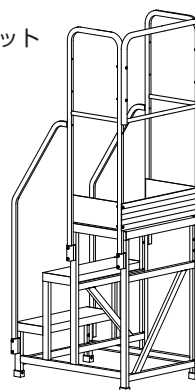
片側手すり
(図は右側)



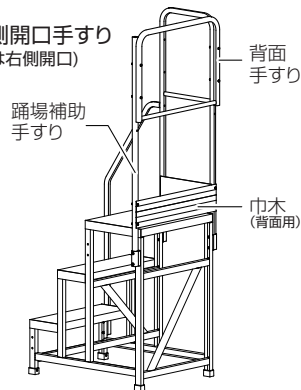
両側手すり



フルセット
手すり



片側開口手すり
(図は右側開口)



内容物

はじめに、内容物がそろっていることをご確認ください。
不足がある場合は、本紙記載の「お客様相談室」までご連絡ください。

	片側手すり	両側手すり	フルセット手すり	片側開口手すり
踊場手すり	1	2	2	1
階段手すり	1	2	2	1
背面手すり (巾木含む)	—	—	1	1
踊場補助手すり	—	—	—	1
プラケット	3	6	6	4
ボルト(M6×60)	6	12	16	12
ボルト(M6×40)	1	2	6	5
平座金	6	12	12	8
バネ座金	7	14	22	17
ナット	6	12	16	12
袋ナット	—	—	4	4

※フルセットと片側開口は下記手すりのセット梱包です。

・フルセット：両側手すり+背面手すり

・片側開口：片側手すり+背面手すり+踊場手すり

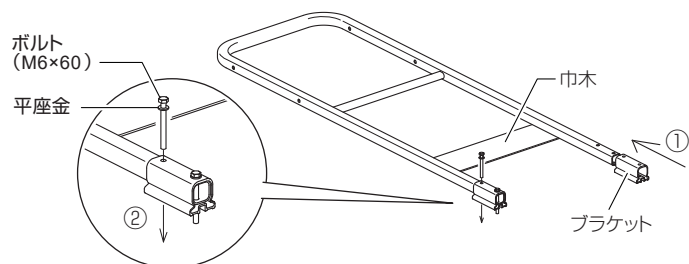
※ボルト類はそれぞれの梱包に附属している合計の数です。

※座金・ボルト類はM6用です。 ※締結部品(ボルト等)はステンレス品です。

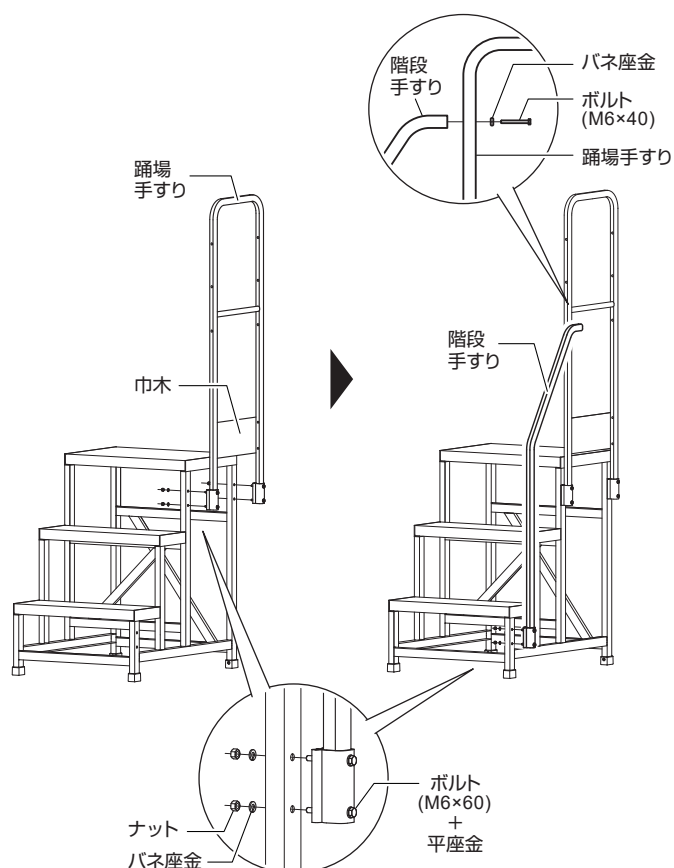
踊場・階段手すりの取り付けかた

全ての手すりは左右共通です。ここでは右側へ取り付ける場合を説明しています。左側に取り付ける場合は取り付け位置を反対にし同手順で取り付けてください。

- ①踊場手すりの巾木を下面にして、下部にブラケットを挿入します。
- ②ボルト(M6×60)に平座金を通してブラケットに通します。

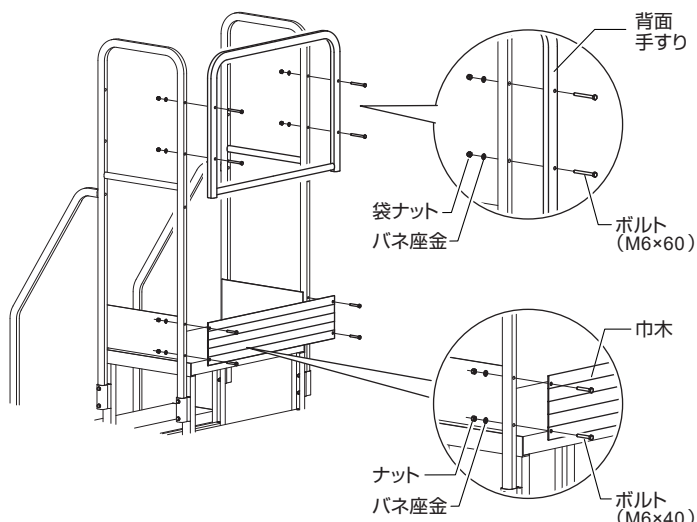


- ③ブラケット付きの手すりを、作業台支柱の取り付け穴に位置決めし、支柱の内側からバネ座金とナットで仮締めします。巾木が天板側にあることを確認してください。
- ④階段手すりの下部にブラケットを挿入しボルトに平座金を通してブラケットに通します。
- ⑤踊場手すりと同様に作業台へ仮締めします。
- ⑥踊場手すりと階段手すりをボルト(M6×40)とバネ座金で仮締めします。
- ⑦仮締めしたブラケット部のボルトを手すりのぐらつきが無くなるまでしっかり締め付けます。
- ⑧踊場と階段の手すりを取り付けたボルトもしっかり締め付けます。



背面手すりの取り付けかた

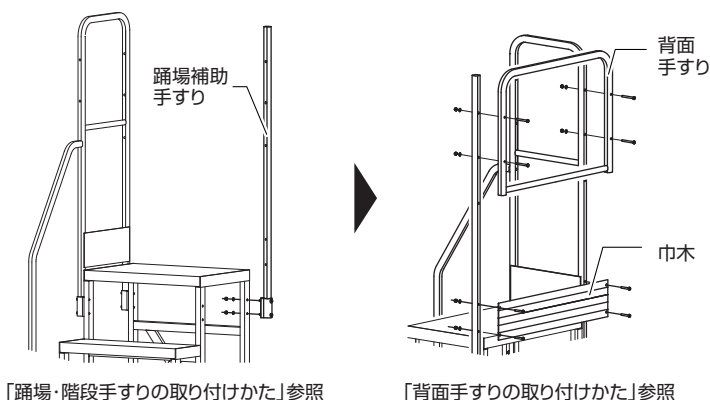
- ①踊場・階段手すりの取り付けかたを参照し、本体の両側に手すりを取り付けてください。
- ②背面手すりにボルト(M6×60)を通し、バネ座金と袋ナットで踊場手すりに仮締めします。
- ③巾木にボルト(M6×40)を通し、バネ座金とナットで仮締めします。
- ④仮締めしたボルト・ナットをしっかり締め付けます。



片側開口手すりの取り付けかた

手すりは左右共通です。ここでは右側を開口させる場合を説明しています。左側を開口する場合は取り付け位置を反対にし同手順で取り付けてください。

- ①「踊場・階段手すりの取り付けかた」を参照し、開口しない側の踊場・階段手すりを本体に取り付けてください。
- ②踊場補助手すりの下部にブラケットを挿入し、ボルト(M6×60)に平座金を通してブラケットに通します。
- ③踊場手すりと同様に仮締めします。
- ④背面手すりと巾木を取り付けます。取り付け方法は「背面手すりの取り付けかた」をご参照ください。
- ⑤仮締めしたブラケット部のボルトを手すりのぐらつきが無くなるまでしっかり締め付けます。



※手すりのブラケットは、ボルト・ナットをしっかり締め付けることで少し変形し、ぐらつき無く手すりを固定することができます。手すりを取り外した場合の再利用も可能です。
 ※焼き付けを防止するため、ボルト・ナットはゆっくり締め付けてください。また、電動工具を使用しての締め付け作業は絶対に行わないでください。

弊社では、常により良い製品を目指し、仕様・デザイン・生産技術等、あらゆる面でさまざまな改良を積み重ねております。つきましては、この取扱説明書に記載している仕様は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。